

# コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2018-03-01

No. 95



株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation  
〒516-2102 三重県度会郡度会町大野木 3571 番地 2

本社・大野木事業所

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

## コスモス ニュースレター EMC & 安全

## 目次

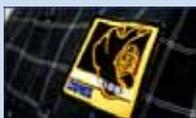
エグゼクティブサマリー Executive Summary .....	2
IEC: 総務省: CISPR ウラジオストック会議の審議結果: 情報通信技術分科会 (第 130 回) (1/2)...	3
IEC: 2018 年の CES での技術動向: AI テクノロジーが革新を推進する .....	3
IEC: 新規格リスト .....	4
ISO: 新規格リスト .....	7
UNECE: 国際テーマ: 規制 No. 10 (電磁両立性) 06 シリーズ修正への提案 .....	9
UNECE: 国際テーマ: 自動車規制の整合化に関する世界フォーラム第 173 回 報告 .....	11
国際テーマ: 新欧州 RoHS 指令 .....	13
国際テーマ: 欧州 REACH 規則 - 拡大された懸念化学物質リスト .....	13
国際テーマ: ベラルーシおよびユーラシア地域における市場アクセス状況 .....	14
国際テーマ: イスラエルのエネルギー効率試験 .....	15
国際テーマ: アラブ湾岸地域におけるエアコンの認証範囲 .....	15
国際テーマ: サウジアラビアでの展開の必要条件 .....	16
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲 .....	16

USA: FCC: Part 2,15,18,73,74,78,80,87,90, 及び 101: 無線周波機器の認可規則施行(2/3) .....	18
USA: FCC: KDB: どんな機器が、パート 18 対象の ISM 機器とみなされるか? .....	22
USA: FCC: Part 15: Sensible 社医用画像システム: 超広帯域無線規則の適用免除 .....	23
USA: FDA: レーザ通知 No.56: IEC 60825-1 第 3 版及び IEC 60601-2 第 3.1 版への適合 .....	24
USA: EPA: 特定化学物質の重要新規利用の変更 .....	24
USA: DOE: NREL: データブック 2016 は再生可能電力の継続的な成長を示す .....	25
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知 .....	25
USA: ANSI/UL: 新規格リスト .....	26
USA: IEEE: 新規格リスト .....	29

EU: Brexit - 産業製品分野における影響に関する利害関係者への指針 .....	31
EU: 無線機器指令/R&TTE 指令整合規格リスト発表: 解説: 2018/2/9 日付け .....	32
EU: RED: 委員会決定 2000/299/EC に従う「クラス 1」の範囲に含まれる機器リスト更新 .....	32
EU: 再生可能エネルギーのシェアは 2016 年に 17%に .....	33
EU: CENELEC: 新規格リスト .....	34
EU: ETSI: 新規格リスト .....	37
オーストラリア: EMC 規格リスト更新: 2 規格が追加 .....	38
オーストラリア: インテリジェント輸送システムをサポートする新しい規制を導入 .....	38

中国: CQC: オートバイ、オートバイエンジンの強制性製品認証実施細則の改訂 .....	39
中国: CQC: 電動立ち乗り車の認証の根拠規格の変更に関する通知 .....	39
中国: CQC: 自動車用ランプ及び自動車製品の強制認証に新版規格の関連要求 .....	39
中国: CQC: 家庭用及び類似用途の電気機器: 電気便座の省エネルギー 節水 抗菌認証 .....	40
中国: CQC: 道路照明ランプシステムへの新版省エネルギー認証技術規範等の実施 .....	40
中国: 新規格リスト .....	40
台湾: 電気・電子商品の七項目に関する、公告改正前の元の型式試験レポートの適用 .....	46
台湾: 「自主製品検証実施弁法」第二十二条の改正通知 .....	46
台湾: 新規格リスト .....	47
韓国: 電磁両立性の基準 (国立電波研究院告示第 2017-19 号): 電動自転車基準を追加等 .....	48
韓国: 電磁両立性試験方法 (国立電波研究発表第 2017-71 号、2017.12.28) .....	48
韓国: KN 15194 電動自転車の電磁両立性試験方法[別表 22] 発行 .....	48
韓国: 電気自動車急速充電方式の統一化のための KS 改正告示: 「コンボ 1」に統一 .....	49
韓国: 韓国: 電気用品と生活用品安全管理法 (電安法) 業界説明会開催 .....	50

総務省: IEC: CISPR ウラジオストック会議の審議結果: 情報通信技術分科会 (第 130 回) (1/2) .....	51
経済産業省: ポータブルリチウムイオン蓄電池が電気用品安全法の規制対象に .....	55
経済産業省: 登録検査機関ガイド (第 3 版) を掲載: 平成 30 年 2 月 8 日付け .....	55
経済産業省: 日本工業規格 (JIS) を制定・改正 (平成 30 年 1 月分、2 月分) .....	56
ちょっとといっぷく~小クイズコーナー 「CB 制度概要に関して」 .....	17
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内 .....	30
社長の独り言 .....	57



## [総務省: IEC: CISPR ウラジオストック会議の審議結果: 情報通信技術分科会 \(第130回\) \(1/2\)](#)

- 平成29年度のCISPR全体総会は、平成29年10月2日から6日までの間、ウラジオストック(ロシア)において開催された。我が国からは、総務省、各研究機関、各大学、各試験機関及び各工業会等から29名が参加した。総会には、我が国の他、米、加、豪、中、韓、英、仏、独等の約20カ国より、約100名が参加した。
- 平成30年1月24日(水)、情報通信審議会 情報通信技術分科会(第130回)が開催され、「電波利用環境委員会報告 概要～CISPRウラジオストック会議の審議結果～」が公開されている。ここではその抜粋を二回に分け報告する。

## [UNECE: 国際テーマ: 規制 No. 10 \(電磁両立性\) 06 シリーズ修正への提案](#)

- 規制 No. 10 (電磁両立性) への修正の06シリーズに対する提案が提出されている。UNECE・自動車規制の整合化に関する世界フォーラム・灯火器及び指示装置照に関する作業部会第79回セッション(2018年4月24～27日)に対する暫定議題として準備された。
- 規制 No. 10 を、① CISPR 12規格の車両狭帯域限度値、及び② 車両充電モードに対する最新のCISPR 12規格のセットアップ(疑似電源網、ハーネス位置、Z-フォールディング, …) と、一致させる目的で作成された。

## [UNECE: 国際テーマ: 自動車規制の整合化に関する世界フォーラム第173回報告](#)

- 国連欧州経済委員会傘下の「自動車規制の整合化に関する世界フォーラム 第173回セッション」が、2017年11月14-17日開催され、その報告書が発行された。
- (A) 国際全車両型式承認に関する統一規定であるUN規制 Regulation No. 0 (ECE/TRANS/WP.29/2017/108) が紹介され、本型式承認システムが対象としている国連規制をリストした本規制の附属書4が最新のものに修正された。
- (B) 1958年合意協定の第3版(ECE/TRANS/505/Rev.3) が、2017年9月14日に発効した。改訂3に関する「質問と回答」(Q&A)文書のNo. 20が改訂された。

## [USA: FCC: Part 2,15,18,73,74,78,80,87,90, 及び 101: 無線周波機器の認可規則施行\(2/3\)](#)

## [USA: FCC: KDB: どんな機器が、パート18対象のISM機器とみなされるか?](#)

- 委員会は、工業用ヒーターまたは電子レンジの中などでの作業エネルギーという主要目的のためにRFエネルギーが発生するパート18装置とは対照的に、情報の変調伝送のため、パート15の意図的放射機器が、低電力伝送通信機器として最適に扱われてきたと判断している。しかし、他の一部の利用に関しては、パート15または18規則の適用範囲はケースバイケースの分析が必要である。

## [EU: Brexit - 産業製品分野における影響に関する利害関係者への指針](#)

- 本指針は、英国撤退日からの、EU27市場に出される非食糧および非農産物に対する英国の撤退の影響を、分析する。
- 適合性評価手続及び通知機関に関連した懸念(英国通知機関によって発行された証明書を保持する事業者は、EU27通知機関によって発行された新しい証明書を必要とする等)を扱っている等。

## 社長の独り言

平成 30 年 2 月 22 日

濱口 慶一

自宅近隣の梅が満開になりつつあります。もうすぐ桜の季節が近づいて来ていると感じるこの頃ですが、日本国内の一部地域では歴史的な大雪で様々な生活上の問題が生じ大変な地域があるというニュースもあります。春の到来を喜びとすることも少し控えなければならないのかと思ひ悩むところです。

31 歳の頃に京セラを退職した後、認証取得代行会社に就職し、UL、CSA、TUV 等認証機関への製品安全申請代行業務を行っていました。毎月米国、カナダと日本を往復して精一杯活動していたことを思い出します。その後、独立して今のコスモスを創立したのですが、相変わらず今も海外の製品認証機関への申請代行業務や、国内の関係監督省庁から認定を受けた製品安全認証業務をさせてもらっています。製品安全認証業界においてお客様の様々なプロジェクトに関わっていく中で、「製品安全規格とは何か？」を考えることが多々ありました。

前々回でしたか、“世界市場を制覇する 国際規格標準化戦略”（元ソニー株式会社の原田節雄氏著）を紹介させていただきました。製品規格はその国の法律だと理解していた時代（もちろん国内の監督省庁の認可を受けた部門は完全な法律だと理解して遂行する）がありました。IEC という世界規模の組織との折衝は数回経験しましたが、原田氏のこの書物を読めば読む程、是非原田氏にお逢いしたいと思うようになり、実は最近、あの手この手のつてを使って、東京でお時間をいただいております。今では一体何を話したのか？失礼なことは無かったかと心配なところが多々ありますが、最後にこんな本も出したのだからあまり売れないよと紹介された本があります。（“実録 交渉の達人 国際標準化戦争秘録”原田節雄氏著、日経 BP 社発行）面談を終えたそのビルの出口でアマゾンに発注し、読ませていただきました。

コスモスの主要な幹部には、会社で購入して座右の書にしてもらおうと計画しています。海外の認証機関と折衝することが多い私達には、対象国の異文化が育んだ人間性などが明確に理解出来、これからの業務に大いに生かせると確信しています。外国機関も一つの組織であり、何等かの戦略をもって活動しており、その組織の人間はそれを理解して行動しているはずで、特に私たちのような業務を行っている多くの機関の人と最終的には折衝することになります。前日には認証を明日必ず出しますと約束してくれていても、関係者の方の不幸で担当者の方がその会社を休んで、日本に報告した“明日には認証が取れます”の約束が守れなくて叱咤を受けたこともあります。私もその頃から、“人を信用するには遅すぎて失礼は無い、成果を出してから信用しても良いのでは？”“という人とお付き合いするための自己哲学のようなものを持ち始めたように思います。原田さんは最後に、ソニーを卒業して、今は若い同じ業界の人達に自分の経験や思いを出来たら伝えることをしていきたいとおっしゃっていましたので、私は若くないですが、これからのスタッフにはこの方の講話を受ける機会を何とか作って行き、一人でも原田さんファンをつくり、お教えを受けることが出来るなら、貴重な経験は最高の折衝技術として残って行くように思うのです。

一方、私も昨年ご紹介した故高杉徳和氏が薦めてくださった濱口塾の創設に向かいたいと思います。医療機器や電気用品安全法下の登録認証機関となった現在、コンサルテーション行為に非常に厳しい制約を受けていますが、今の製品安全規格の多さには、何か大きな組織の意図を感じます。実際、お客様のありとあらゆる製品を見せていただいていると、製品開発の担当者の方にはこのポイントさえ抑えていただければと思うことが多々あります。製品の形態が大きく変わって来ている現在に的確に対応できる製品安全対応ガイドの出版やセミナーでの説明はコンサルテーションにならないと思うのですが、皆様いかがでしょうか？

- ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域
- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで [sales@cosmos-corp.com](mailto:sales@cosmos-corp.com)  
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行 : 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。
- 価格 : 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

### コスモス ニュースレター EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2018-03-01 (No. 95)

発行所 : 株式会社コスモス・コーポレーション 松阪事業所 <http://www.safetyweb.co.jp/>  
〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地

発行人 : 濱口慶一

編集人 : 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2018 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。